

裏路地探険

四方を山々に囲まれ、のどかな田園地帯が広がる朝来市山東町与布土。周辺には古墳がたくさん見られ、この地が古くから開けた土地だったことをうかがわせる。延長3年(925)の『但馬世継記』にも、「與布土ノ里」として記述されていて、集落の歴史は古い。

与布土が一望できる衣笠山は、戦国時代、山名四天王と呼ばれた竹田城主・太田垣氏の命により、山頂に砦が築かれていた。

但馬守護・山名氏から離反した太田垣氏は生野銀山の支配権を巡って対立状態にあり、衣笠城は竹田城の見張り基地としての役割を担ったという。頂上付近に残っている防御陣地の跡が往時の様子を含んで伝えている。

山すそには城主に据えられた松岡盛祐の居館があったとされ、



集落の中心にある「よぶど温泉」は、新陳代謝をよくするラドンの含有量が多く、市内外からたくさんの温泉客が訪れる。7月中旬にはハス祭りも開催される。(写真は端午の節句の頃)



戦国時代、衣笠城主・松岡盛祐が創建した玉林寺。松岡夫妻の位牌をお祀りしている。春は山門前のソメイヨシノと境内のしだれ桜の絶景で賑わう。(写真提供：坪井茂喜さん)



南北朝に造られたとされる「石造九重塔」は、県の文化財に指定されている。地元の伝承では、曾我兄弟の仇討ちで有名な「曾我物語」のヒロイン・虎御前の供養塔といわれている。古来より女人の信仰が篤く、今も地元の人によってきれいに保存されている。



玉林寺で保管されている足立仁十郎の遺品。会津藩の家紋入りの通行手形(荷札)。



庄屋屋敷の面影を今に残す山崎邸(山東郷土資料館・農家レストラン「笑茶屋 喜古里」)。築150年以上前の旧家で、与布土地域の歴史・文化を伝える展示品が飾られている。

のどかな田園風景が一面に広がる「緑風の郷」古墳を始め、戦国・幕末期の歴史遺産が残る古代から開かれた伝説の場所をのんびり歩く

今でも辺り一帯は「古屋敷」と呼ばれている。その他にも、「馬場」や「的場」といった地名が残り、戦国時代の名残が見られる。

与布土川を挟んで対岸に位置する玉林寺は、永禄3年(1560)、盛祐が創建したと伝える臨済宗の古刹。春は桜の名所として人気があり、山門前のソメイヨシノと境内のしだれ桜が折り重なる情景は得もいわれぬ美しさだ。

また、当寺は幕末に会津藩の御用商人として活躍した足立仁十郎の菩提寺としても知られる。与布土で生まれた仁十郎は、長崎で人參貿易商として財をなし、その後、会津藩に召し抱えられ、動乱期の財政を支えた人物。

寺には、肖像画や会津藩の家紋が入った通行手形などの遺品が大切に保管されている。

ランチバイキング 大満足!

スローフードレストラン **茶り庵**

大好評!! 毎週水・木は「おぼんざいランチバイキング」

地元旬の食材を使った、身体に優しい手づくり料理です。期間により特別料理もご用意! 何度きても飽きない味とメニューです。

【営業時間】11:00~20:00(オーダーストップ19:30)
 【おぼんざいランチバイキング】毎週水・木 11:00~14:00(入店)大人:1,500円(ドリンク付)

一般道からもアクセス可能!

- 山東カントリークラブから約200m先 左折
- 大月西交差点から100m先 右折

至山崎IC 北近畿自動車道 至山崎IC

兵庫県朝来市山東町大月92-6 年中無休 営業時間 8:30~20:00
 TEL. 079-676-5121 FAX. 079-676-5123
 URL: http://www.green-wind.co.jp/

自然に包まれ、心安らぐ

ラドンを多く含んだ湯は神経痛や筋肉痛、冷え症などに効果的。心も体も芯からほっこり。

よぶど温泉

兵庫県朝来市山東町森字極楽108 TEL. 079-670-7070 FAX. 079-670-7071 http://yofudoonsen.jp/

